

授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅰ 実習	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 碧・川村泰子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期・後期

【授業の主題】

実習に出向く地域の健康状態や社会資源などを総合的に把握し、実習Ⅱでの学びを活かし、地域に暮らす方々の家庭訪問などを行います。また、プレゼンテーションを通じて学生間の相互理解を図ります。

【到達目標】

実習要項に記載

【授業計画・内容】

1. 実習概要
実習オリエンテーションで提示する（詳細は実習要項を参照）
2. 実習施設
秋田県内の市町村（4か所）

【授業実施方法】

実習要項を参照

【授業準備】

地域の健康状態や社会資源のとりまとめ、家庭訪問。プレゼンテーションと意見交換

【主な関連する科目】

公衆衛生看護学関連の全ての科目

【教科書等】

これまでに学んだ公衆衛生看護学科目、社会福祉などに関する科目等の教科書、資料類を幅広く活用する。

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

実習内容・実習記録で50点、事例検討会で50点を配点し総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師として、乳児から高齢者まであらゆる健康段階にある方の訪問をした経験を活かし、今まで学んだことを活かして体験的・実践的な学びとなるように実習進行をしていきます。

【学生へのメッセージ】

これまでに学んできた知識や技術を活かして、地域で生活している人々の健康課題解決への支援活動を実践する実習になります。各自が実習目標を持って、積極的な姿勢で実習に取り組んでいきましょう。